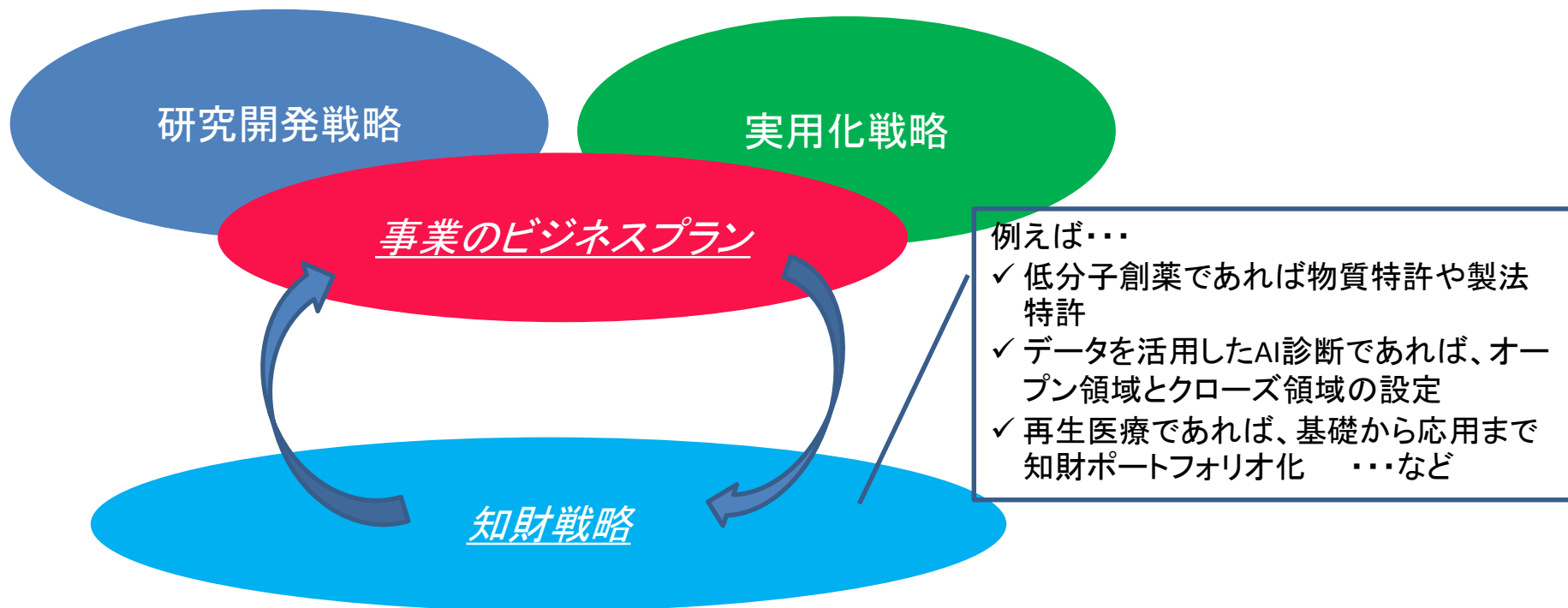

AMED知的財産部による 研究開発の知的財産に関する取組み

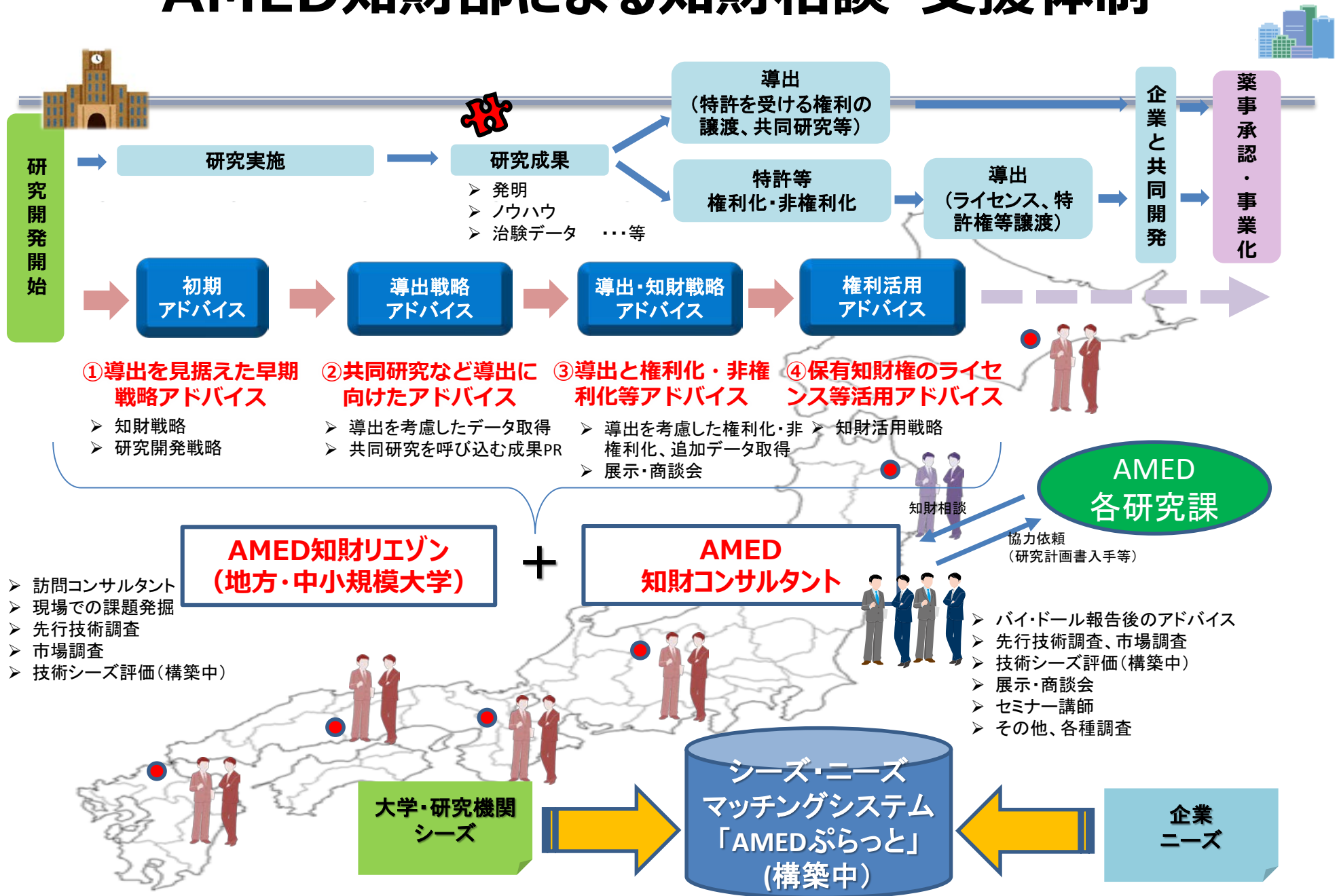
日本医療研究開発機構
知的財産部部長
岩谷 一臣

AMED知財部による知財支援の基本的な考え方



- 研究開発の早期から実用化に向けた戦略立案(事業のビジネスプラン立案)が重要
- 知的財産を目的化せず、ビジネスプランの実効性を最大化させるための知財戦略サポート
- 研究開発の進行状況に合わせ、知財戦略と具体的な支援策を随時リバイス

AMED知財部による知財相談・支援体制



特許出願、相談等の状況

＜AMED委託研究事業に基づく特許出願＞

出願国	2015年度	2016年度	2017年度 (2月まで)	合計
日本	158	242	199	599
米国	7	18	9	34
欧州	0	2	1	3
PCT	24	87	72	183
中国	0	1	0	1
台湾	0	9	7	16
合計	189	359	288	836

＜AMED知財部における知財・導出相談等の回数＞

種別	2015年度	2016年度	2017年度 (集計時点)	総計
コンサルタント	205	230	76	511
リエゾン	-	-	117※	117
合計	205	230	193	628

※)リエゾンは、7月～12月までの期間訪問数

研修セミナー

大学等の知財実務担当者向けに、研究成果の知財化・導出に必要とされる知識やスキルの習得を目的とする研修セミナーをより充実して開催（延べ参加者99名）

1. 成果導出・基礎コース(東京10月3, 4, 23, 24日) (大阪10月10, 11, 18, 19日)※

知的財産及び産学官連携の意義、成果導出を進めるために必要な基礎知識・実践ノウハウ等を習得

※大阪会場の設定は、1.のみ

2. 成果導出・応用コース(医薬コース10月16, 17, 11月17, 18日) (医療機器コース10月16, 17, 11月28, 29日)

具体的な事例研究等を交え、医薬品・医療機器における契約等諸問題について、知識やノウハウ等、実践力を習得

3. 契約交渉コース(国内コース11月13, 14, 12月1, 2日) (国外コース11月1, 2, 12月7, 8日)

国内外企業を想定し、医薬品・医療機器等に関連する共同研究、受託研究、ライセンスの契約実務に必要な知識を習得

4. 製薬協×AMED×medU-net 創薬塾

アカデミアと産業界との強固なパートナーシップを構築すべく、製薬企業との本音ディスカッションのほか、製薬企業に対する効果的なPRシートの作成のこつを習得

(研修の様子)



研究委託採択者向け
知財e-learnigも施行開始



調査研究事業

1. バイオ医薬品分野における知的財産戦略および活用の最適化に関する調査研究
2. 医療分野の成果導出における試験研究データの取扱いに関する調査研究
3. CRISPR/CAS9関連技術に関する簡易特許調査(平成27年度調査リバイス)

※)その他、CAR-T関連、AI技術を活用した内視鏡の画像診断技術関連について、簡易特許調査を実施中

＜平成28年度以前の調査研究＞

- ・再生医療分野における知的財産戦略に関する調査(平成28年度)
- ・中分子医薬化合物の研究開発・知的財産動向調査(平成28年度)
- ・腸内細菌叢を応用した医療分野における研究開発・知的財産動向調査(平成28年度)
- ・中分子医薬化合物の研究開発・知的財産動向調査(平成28年度)
- ・医工連携における知財権の活用に関する調査研究(平成28年度)
- ・CRISPR/CAS9関連技術に関する簡易特許調査(平成27年度)
- ・がん領域における調査分析(平成27年度)
- ・BMI(Brain Machine Interface)分野における技術動向調査分析(平成27年度)